

2016年12月期 第2四半期 決算説明会

2016年8月5日
JUKI株式会社
代表取締役社長 清原 晃

Mind & Technology

JUKI
Mind & Technology

目次

第1部 2016年12月期(2016年度)上期 業績の概要

- | | |
|---------------|---|
| 1. 業績推移・配当 | 3 |
| 2. 経常利益増減要因 | 4 |
| 3. 主要財務項目推移 | 5 |
| 4. セグメント別業績推移 | 6 |

第2部 中期経営計画(2015-2016)の取り組みと下期重点施策

- | | |
|------------------|----|
| 1. 中期経営計画の取り組み | 11 |
| 2. 環境認識・通期業績予想 | 13 |
| 3. 2016年度下期 重点施策 | 16 |

第1部
2016年12月期(2016年度)上期
業績の概要

売上高は、ソリューション営業を強化し自動化・省力化の提案活動に取り組みましたが、中国経済の減速や原油安など世界経済の不透明感が高まり景気の停滞が続く中で、円高が急速に進んだことなどから、前年同期比11.1%の減収

利益面は、生産のコストダウン効果はあったものの、売上の減少などの影響で営業利益は前年同期比52%の減益。大幅な円高による為替評価損の発生により経常利益は84.6%の減益。繰延税金資産の見直しにより当期純利益は30億円の減益

中間配当につきましては見送りとさせていただきます

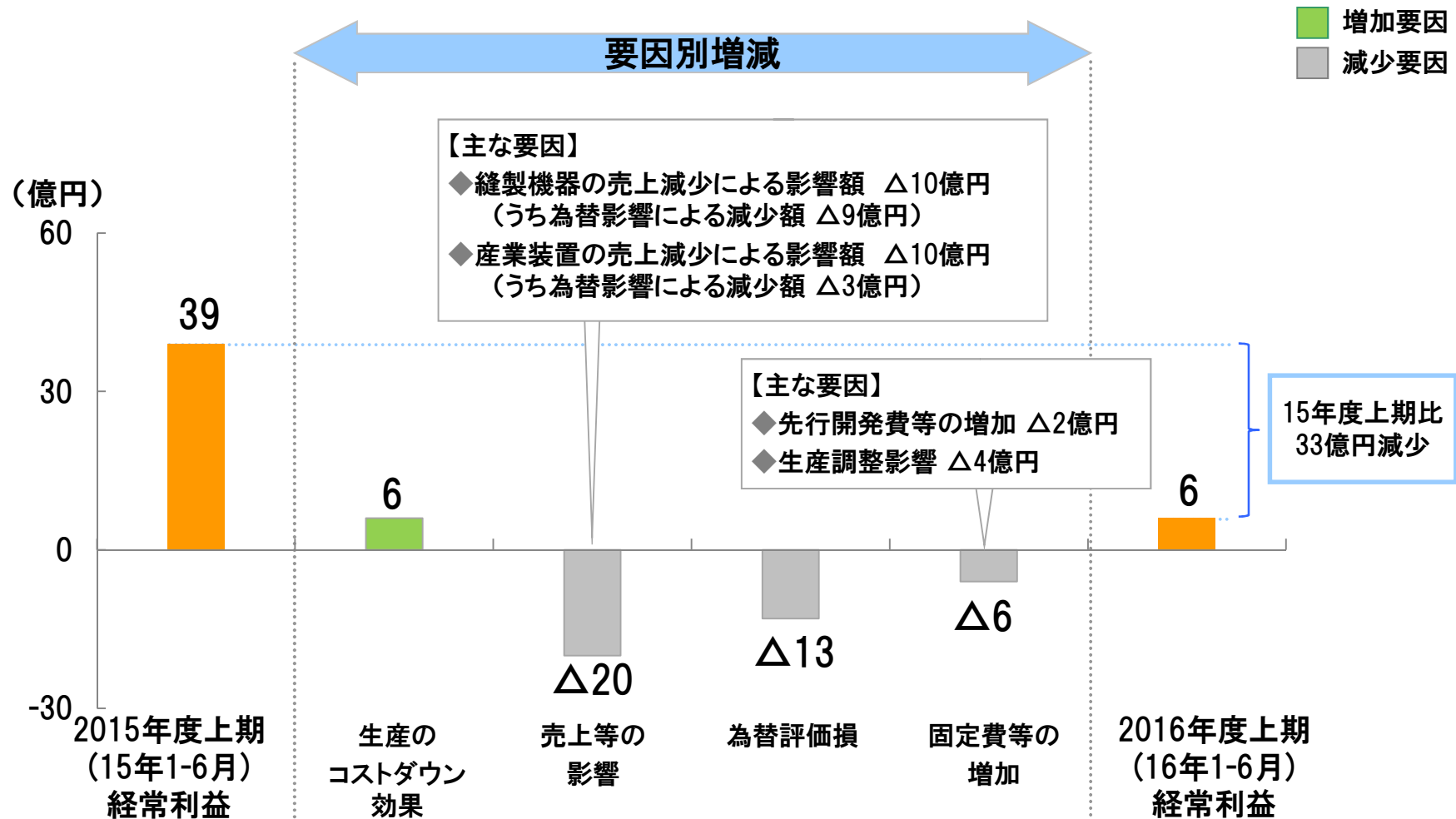
(百万円)

	15/12期 (15年度)						16/12期 (16年度)			前年同期比 増減額 <B-A> (増減率)
	上期			下期			上期			
	1Q	2Q	上期<A>	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期	
	15年1-3月	15年4-6月	15年1-6月	15年7-9月	15年10-12月	15年7-12月	16年1-3月	16年4-6月	16年1-6月	
売上高	28,136	29,233	57,369	25,846	29,650	55,496	25,910	25,081	50,991	△6,377 (△11.1%)
営業利益	1,793 [6.4%]	2,434 [8.3%]	4,227 [7.4%]	1,287 [5.0%]	1,596 [5.4%]	2,883 [5.2%]	1,455 [5.6%]	573 [2.3%]	2,028 [4.0%]	△2,198 (△52.0%)
経常利益	1,544 [5.5%]	2,399 [8.2%]	3,943 [6.9%]	499 [1.9%]	1,286 [4.3%]	1,785 [3.2%]	831 [3.2%]	△225 [△0.9%]	606 [1.2%]	△3,336 (△84.6%)
当期純利益	1,019 [3.6%]	1,700 [5.8%]	2,719 [4.7%]	180 [0.7%]	954 [3.2%]	1,134 [2.0%]	650 [2.5%]	△882 [△3.5%]	△232 [△0.5%]	△2,952
配当 (株式併合後基準)	—	—	<中間配当> 10円/株	—	—	<期末配当> 25円/株	—	—	<中間配当> 0円/株	△10円/株
為替 レート	ドル 119円 ユーロ 136円	121円 135円	120円 136円	121円 136円	121円 131円	121円 134円	116円 129円	108円 121円	113円 125円	△7円 △11円

* 為替レートは営業利益に影響する期中平均レート

* []は売上高利益率

生産のコストダウン効果(6億円)はあったものの、売上減少影響(△20億円)や為替評価損(△13億円)などにより、前年同期比減益

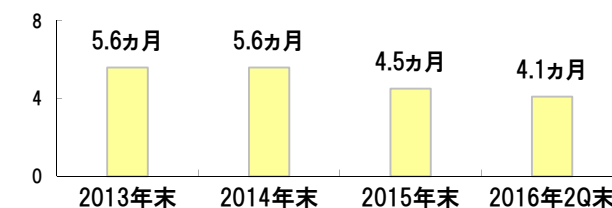


主要財務項目推移

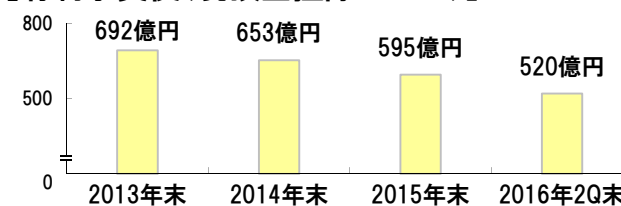
- 在庫回転期間は、物流見直し・生産リードタイム短縮により4.1カ月に低下
- 有利子負債は、74億円減少
- キャッシュ・フローは、在庫削減等により営業CFが大幅に増加
(百万円)

	15/12期末 (15年12月末) 〈A〉	16/12期 2Q末 (16年6月末) 〈B〉	増減額 〈B-A〉
総資産	119,281	106,455	△12,825
純資産 [為替換算調整勘定]	28,477 [△1,148]	23,256 [△4,239]	△5,220 [△3,091]
純資産比率	23.9%	21.8%	△2.1%
自己資本比率	23.2%	21.3%	△1.9%
売上債権	31,263	26,949	△4,314
在庫 [在庫回転期間]	42,647 [4.5ヵ月]	35,216 [4.1ヵ月]	△7,430 [△0.4ヵ月]
仕入債務	10,126	10,782	655
有利子負債	67,377	59,928	△7,449
現預金	7,906	7,931	24
為替レート (期末)	ドル		
	121円	103円	△18円

【在庫回転期間】

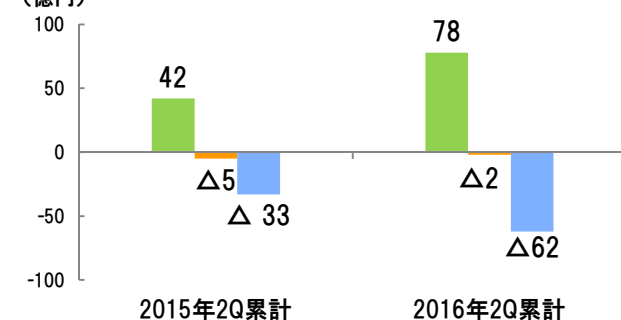


【有利子負債(現預金控除ベース)】



【キャッシュ・フロー】 営業CF 投資CF 財務CF

(億円) 在庫削減等により営業CFが大幅増加



縫製機器は、市場別ではバングラデシュ・インドなどの新興国で売上が拡大し、製品別ではソリューション営業による自動機やパーツの売上に成果が見られたものの、円高で推移したことにより売上高が目減りしたことなどから、前年同期比8%の減収

産業装置は、市場別では最大の市場である中国や米州での売上が減少したこと、製品別ではラインソリューション戦略で展開する新型マウンタ、検査機や省力化設備などの売上は伸びたものの既存マウンタの落ち込み分をカバーできず、前年同期比27.4%の減収

(百万円)

	15/12期 (15年度)						16/12期 (16年度)				前年同期比 増減額 <B-A> (増減率)	【参考】 (うち 為替影響額)
	上期			下期			上期					
	1Q	2Q	上期<A>	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期			
	15年1-3月	15年4-6月	15年1-6月	15年7-9月	15年10-12月	15年7-12月	16年1-3月	16年4-6月	16年1-6月			
縫製機器	21,223	21,681	42,904	20,061	23,182	43,243	19,817	19,659	39,476	△3,428 (△8.0%)	(△3,020)	
産業装置	5,367	6,036	11,403	4,279	4,836	9,115	4,555	3,719	8,274	△3,129 (△27.4%)	(△640)	
その他	1,545	1,516	3,061	1,506	1,632	3,138	1,538	1,702	3,240	179 (5.8%)		
合計	28,136	29,233	57,369	25,846	29,650	55,496	25,910	25,081	50,991	△6,377 (△11.1%)	(△3,690)	
グループ 事業	2,105	2,095	4,200	2,047	2,207	4,254	1,973	2,125	4,098	△102 (△2.4%)		

1-4-2

セグメント別業績 経常利益推移

- 縫製機器は、コストダウン効果があったものの、円高の影響などにより、前年同期比減益
- 産業装置は、構造改革により一定の費用削減効果はあったものの、売上の減少や競合他社との競争による利益率の低下などにより、前年同期比減益

(百万円)

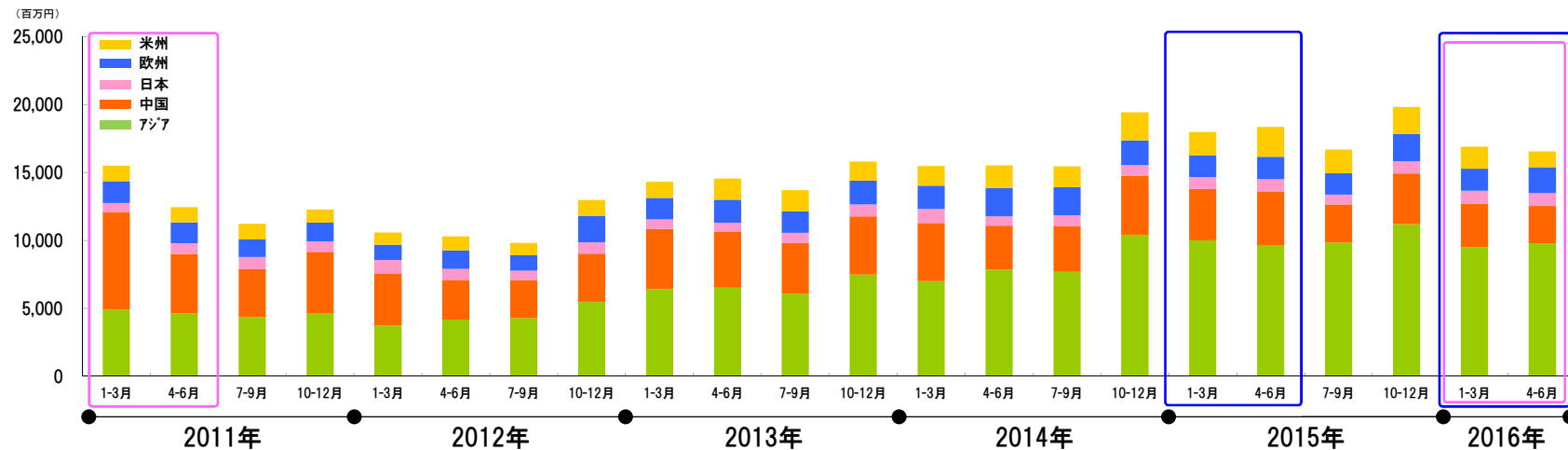
	15/12期 (15年度)						16/12期 (16年度)			前年同期比 増減額 (B-A)	【参考】 (うち 為替影響額)
	上期			下期			上期				
	1Q	2Q	上期<A>	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期		
	15年1-3月	15年4-6月	15年1-6月	15年7-9月	15年10-12月	15年7-12月	16年1-3月	16年4-6月	16年1-6月		
縫製機器	1,925 [9.1%]	2,504 [11.5%]	4,429 [10.3%]	1,651 [8.2%]	2,210 [9.5%]	3,861 [8.9%]	2,133 [10.8%]	1,288 [6.6%]	3,421 [8.7%]	△1,008	(△910)
産業装置	△134 [△2.5%]	△80 [△1.3%]	△214 [△1.9%]	△891 [△20.8%]	△575 [△11.9%]	△1,466 [△16.1%]	△540 [△11.9%]	△546 [△14.7%]	△1,086 [△13.1%]	△872	(△270)
その他	70 [4.5%]	14 [0.9%]	84 [2.7%]	64 [4.2%]	△52 [△3.2%]	12 [0.4%]	△32 [△2.1%]	△173 [△10.2%]	△205 [△6.3%]	△289	
調整額	△316	△40	△356	△324	△298	△622	△730	△793	△1,523	△1,167	(△1,270)
合計	1,544 [5.5%]	2,399 [8.2%]	3,943 [6.9%]	499 [1.9%]	1,286 [4.3%]	1,785 [3.2%]	831 [3.2%]	△225 [△0.9%]	606 [1.2%]	△3,336	(△2,450)

(参考①)

セグメント別業績 縫製機器事業：工業用マシン

アジア新興国地域での販売は伸び悩んだものの引き続き堅調であり、売上高比率は58%に拡大
中国のウエイトは18%に低下

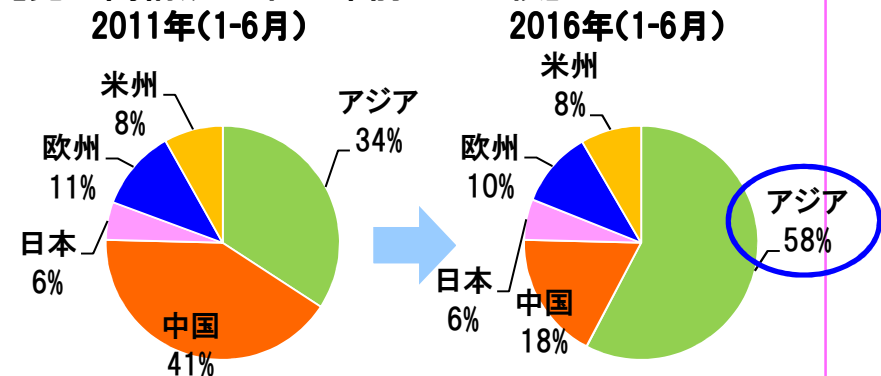
【縫製機器：工業用マシン製品の地域別売上高推移】



【売上高：前年同期比較】

	(億円)			
	2015年 (1-6月)	2016年 (1-6月)	増減額	(増減率)
アジア	196	194	△2	
中国	78	59	△19	(△24%)
日本	18	19	1	
欧州	32	35	3	
米州	39	28	△11	
合計	363	335	△28	(△8%)

【売上高構成比率：5年前との比較】



(注)月次の工業用マシン製品の販売数字を集計したものであり決算数字とは合致しない

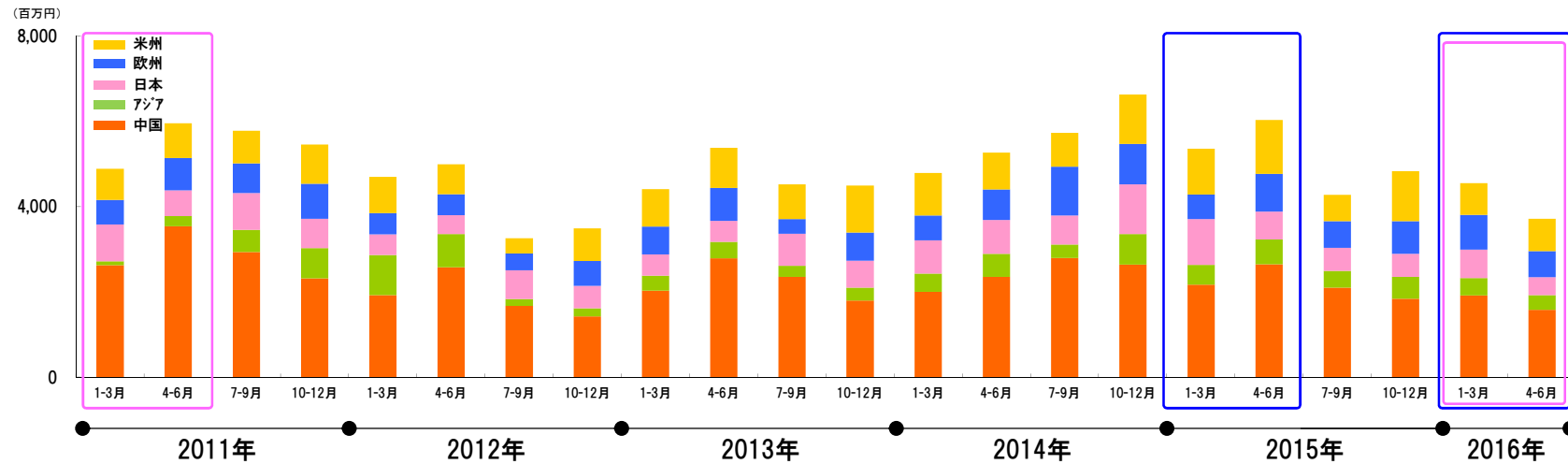
(参考②)

セグメント別業績 産業装置事業



最大の市場である中国は、経済の減速による影響で設備投資需要の減退が継続し減収

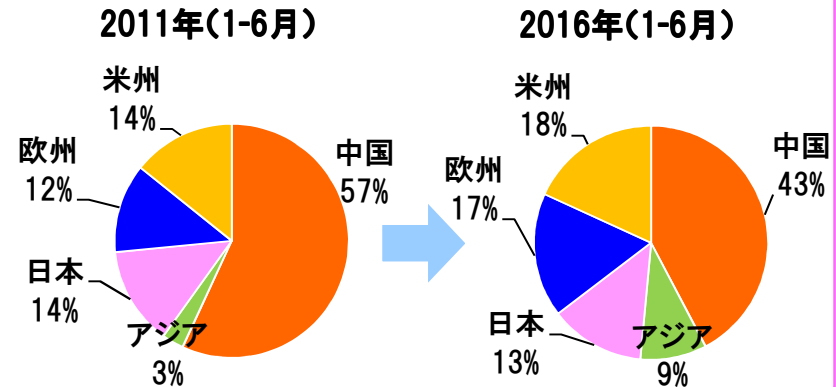
【産業装置：地域別売上高推移】



【売上高：前年同期比較】

	2015年(1-6月)		2016年(1-6月)		増減額	増減率
中国	47	35	△12	(△26%)		
アジア	12	8	△4			
日本	18	11	△7			
欧州	15	14	△1			
米州	22	15	△7	(△32%)		
合計	114	83	△31	(△27%)		

【売上高構成比率：5年前との比較】

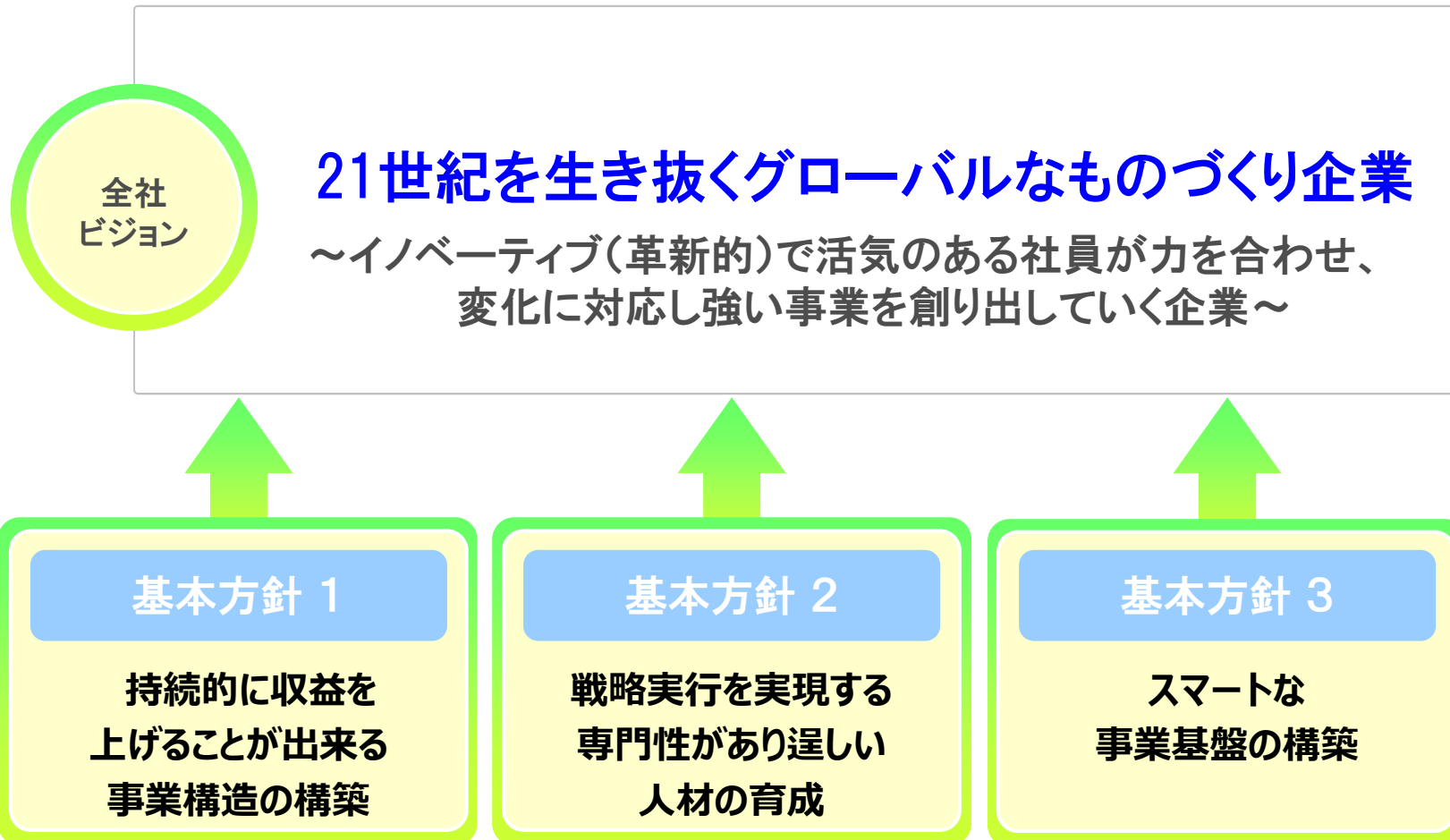


(注)月次の販売数字を集計したものであり決算数字とは合致しない

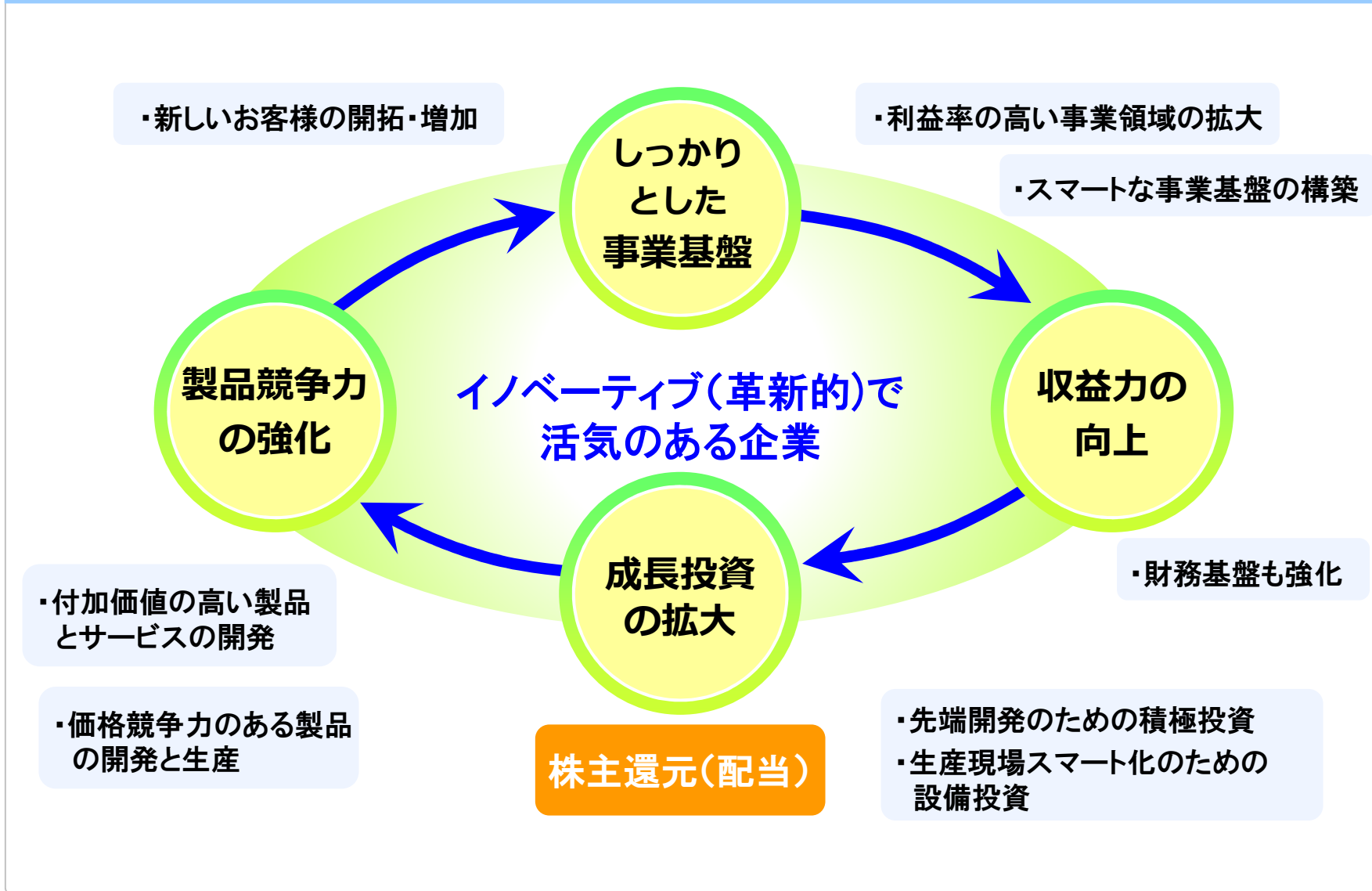
第2部

中期経営計画(2015-2016)の取り組みと 2016年度下期の重点施策

全社ビジョンと基本方針



JUKIの成長サイクル



経営環境

ヨーロッパ

英国のEU離脱

米国

経済成長の安定性に欠け、
金利引き上げを躊躇

中国

減速経済が続く

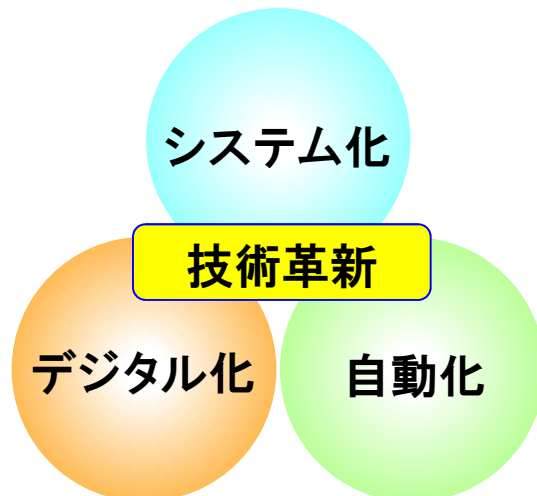
地政学リスク

IS等のテロや地域紛争

世界経済は不透明感が増し、
景気の停滞が続く


円高基調が進む

技術革新の大きな波が到来



製造業の大きな転換期

製造業は設備投資に対して慎重だが、
成長地域や成長企業の投資は進むJUKIはスマートソリューションによる
ラインソリューション提案を加速



下期の
経営方針

縫製機器

業種・地域戦略の強化により、
売上・利益とも成長を確保

産業装置

構造改革による固定費削減と
ソリューション営業による収益の回復

財務基盤の強化

在庫・有利子負債の削減などを徹底

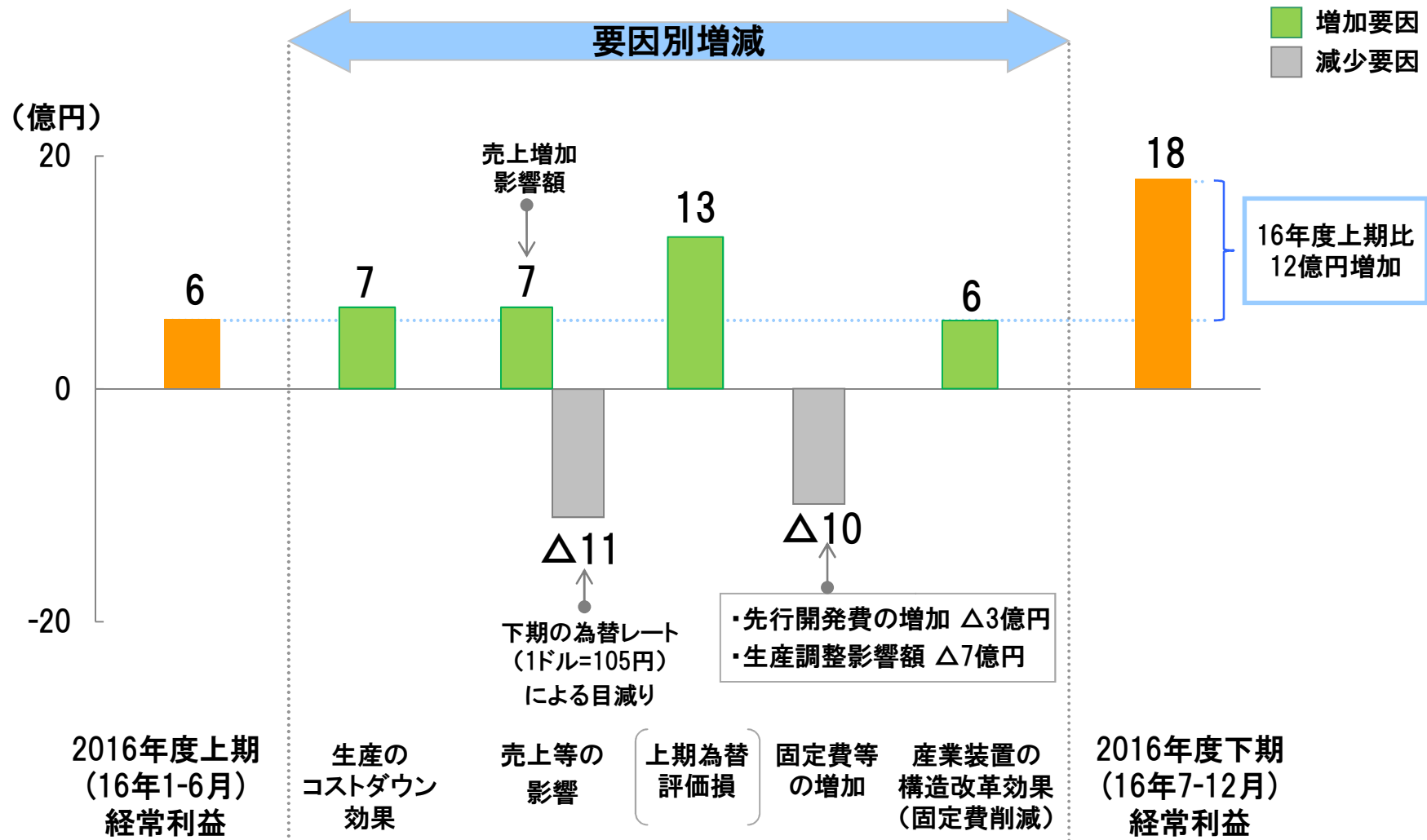


利益重視
の経営

	(億円)		【参考】	(億円)
	2016年度 業績予想(前回)	2016年度 業績予想(今回)	2016年度 上期(1-6月) 実績	2016年度 下期(7-12月) 予想
	通期(1-12月)	通期(1-12月)		
売上高	1,150	1,040	510	530
(縫製機器)	(-)	(805)	(395)	(410)
(産業装置)	(-)	(168)	(83)	(85)
営業利益	60	42	20	22
経常利益	50	24	6	18*
(縫製機器)	(-)	(64)	(34)	(30)
(産業装置)	(-)	(△11)	(△11)	(0)
当期純利益	30	10	△2	12
配当	通期:35円/株	通期:20円/株	—	期末:20円/株
為替レート	1ドル=110円 1ユーロ=130円		1ドル=113円 1ユーロ=125円	1ドル=105円 1ユーロ=110円

※生産調整影響
(7億円)を織り込む

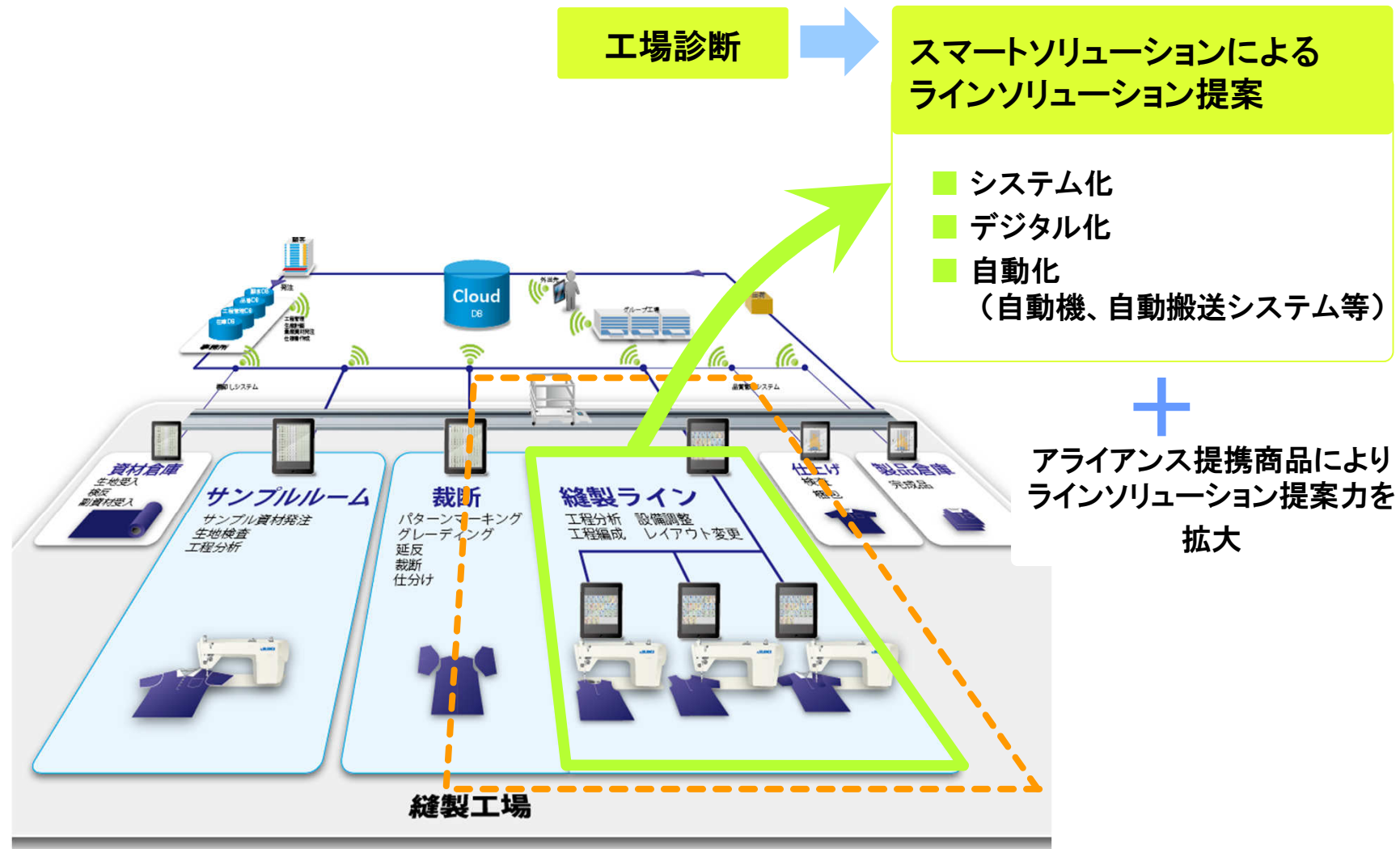
下期の為替レート(1ドル=105円)による目減り(△11億円)や生産調整影響額(△7億円)はあるものの、生産のコストダウン効果(7億円)や売上増加影響額(7億円)に加え、産業装置の構造改革による固定費削減(6億円)などにより増益



工業用ミシンの重点施策



ラインソリューション提案の拡大



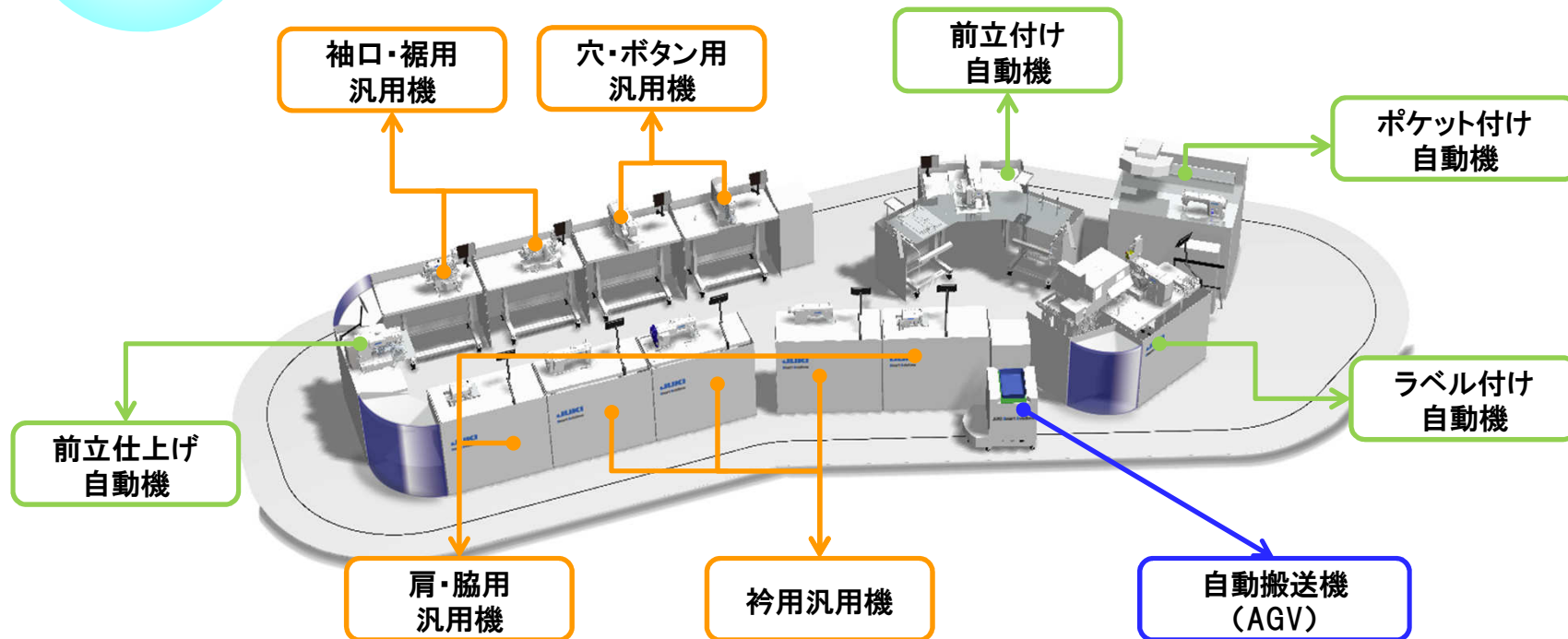
システム化の取り組みについて

システム化

ラインソリューション提案による「スマートファクトリーライン」の構築

⇒人と設備を融合し、生産性が高く、人と環境にやさしい工場を提案

【スマートファクトリー】



【ポロシャツ縫製ラインの例】

縫製工場でのデジタル化・自動化・自動機導入に加えシステム化により、通常は13人のオペレーターが必要なところ、4人で縫製が可能となり、生産性を2倍に向上することができる

デジタル化の取り組みについて

デジタル化

DDL- 9000C

8月新発売

ダイレクトドライブ高速本縫自動糸切りソーイングシステム



メカ式調整



デジタル調整

送り歯やテンションなどの調整がタブレットからのデータ転送により一瞬ででき、縫いの調整時間が大幅短縮



家庭用ミシンの重点施策

新製品およびキルト分野の販売強化

製品
戦略

家庭用ミシン

- 新製品の販売拡大
- 手芸量販店、路面店等での販売強化

小型ロック

- 新製品の販売拡大
- キルトユーザー向けロックミシンの販売拡大

職業用・
キルト

- キルトミシンQVPのシリーズ化による販売拡大

地域
戦略

- 日本、米国、欧州で、新製品やキルトミシンなど高付加価値製品を中心に販売拡大
- 新興国の販売網を整備・拡充

家庭用マシンの重点分野

ホビーや職業用マシンを重点分野と位置付け、特徴のあるビジネスモデルを構築



キルトマシン・フレームタイプ
(立ちタイプ)
TL-2200QVP

ホビー



キルト用
コンピュータマシン
DX-2000QVP



キルト用
小型ロックマシン
MO-2000QVP

職業用



職業用マシン
TL-2200QVP Mini

ニーズに応えるマーケティング活動を展開

産業装置の重点施策

事業領域 の拡大

マウンタ単体販売



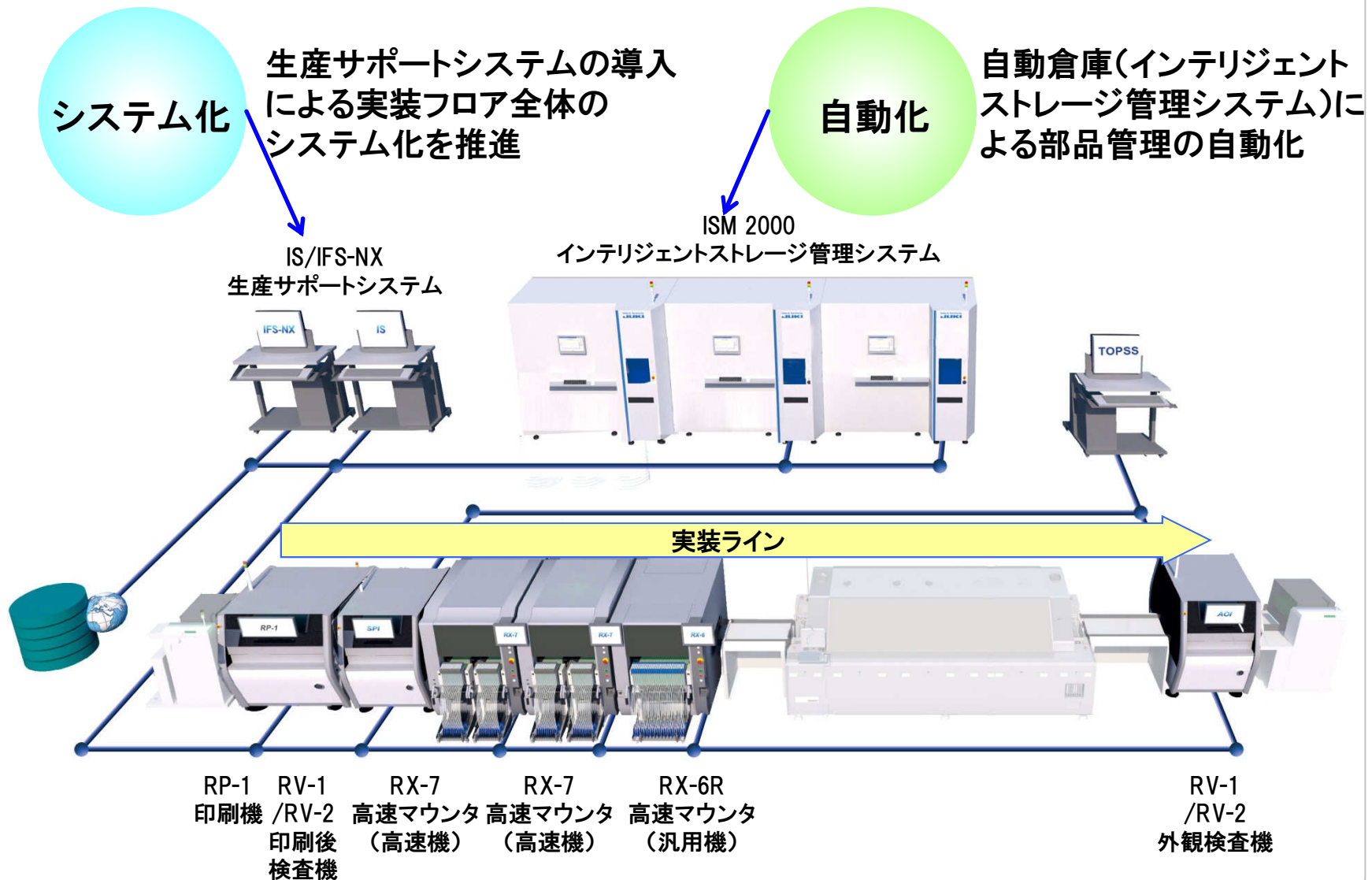
スマートソリューションによるラインソリューション営業により
拡大事業領域での販売拡大

インテリジェントストレージ管理システム
生産サポートシステム
検査機・印刷機
省力化設備

事業構造 改革

- 技術革新の波に対応した営業体制の再構築と組織の効率化により収益改善
- ソリューション営業強化による拡大事業領域での販売拡大により収益改善

ラインソリューション提案の拡大



グループ事業の重点施策

事業拡大に向けた取り組み

他社からの
受託加工事業

ロストワックス・MIM

鋳造

機械加工

ユニット・組立

素材系
部品

加工部品

完成品

グループ事業のネットワーク
と生産技術を生かし、
国内大手メーカーを中心に
受注が拡大中

自社
製品

「分光測色計」の開発・生産・販売



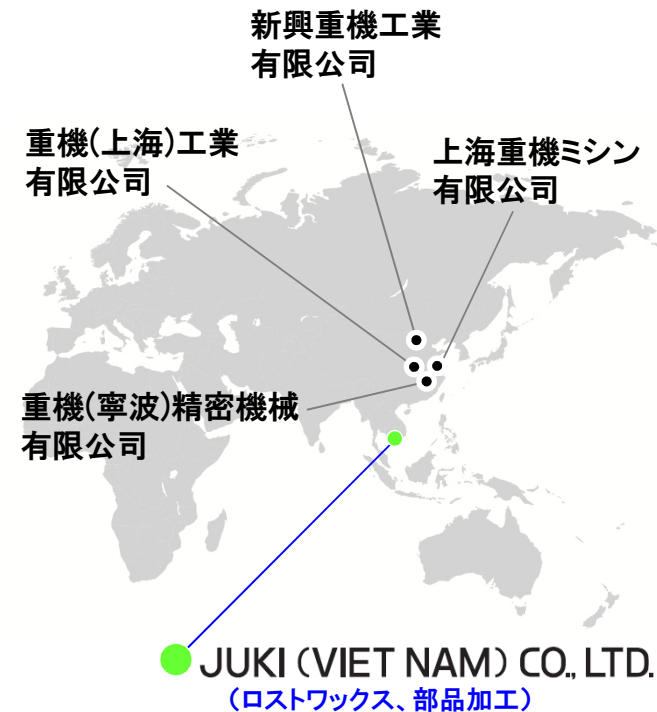
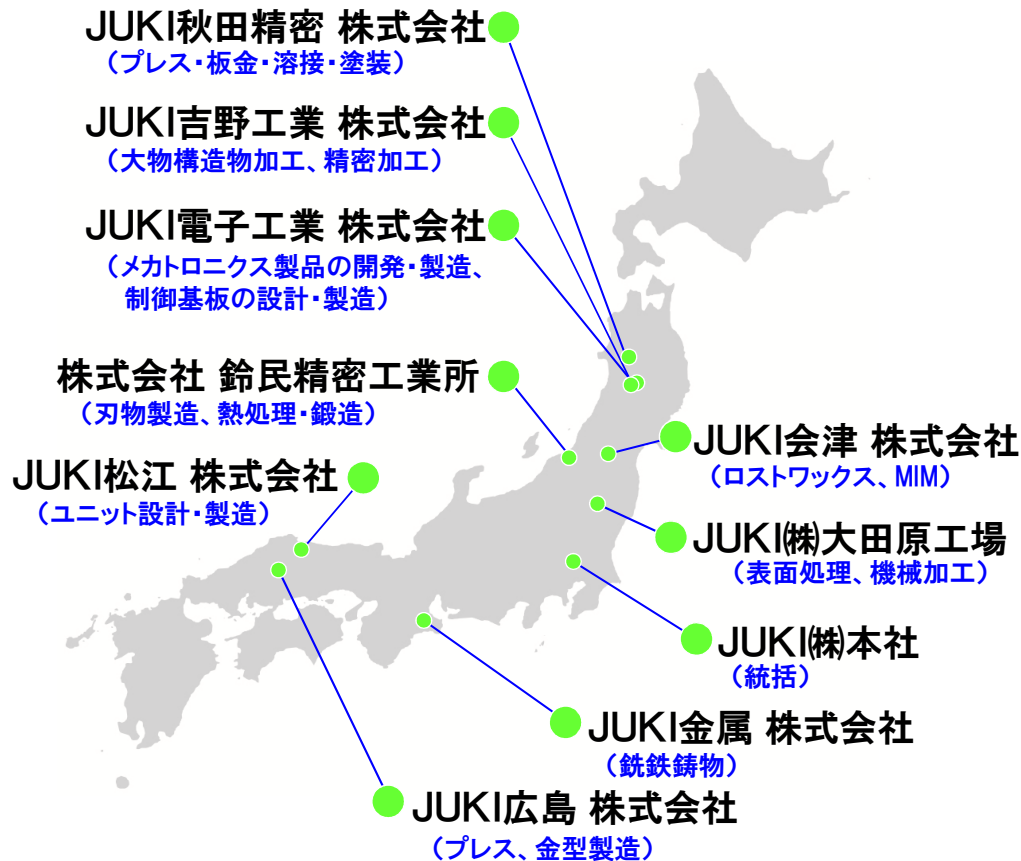
10月発売予定

LEDを発光源とした小型の
測色計。色をデジタルで数値化
できるため、色の再現が容易

グループ事業のネットワーク

国内9社、海外1社により受託加工事業を更に拡大 ⇒ 第三の事業セグメントへ

● グループ事業関連の会社



本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUKI株式会社

お問合せ先： 総務部 総務・広報グループ 担当：寒川^{そう がわ}

TEL :042-357-2398 FAX :042-357-2399

ホームページURL： <http://www.juki.co.jp/>